

男女共同参画情報誌

～わたしたちの望む社会へ～

T R Y とらいあんぐる

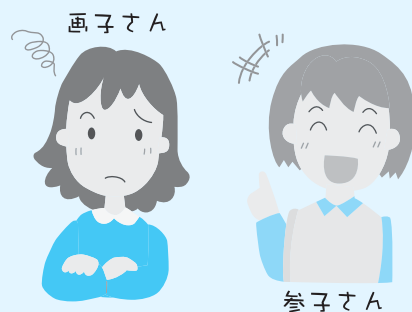
第3号

皆さん、男女共同参画という言葉をご存じですか。

川内市では、平成14年12月「川内市男女共同参画基本条例」を施行しました。

この情報誌は、男女共同参画社会の実現に向けて、市民の皆さんと意見の交換をしながら一緒に「参画社会」を築くことを目標にしています。

男女共同参画講座 part 3



参子.. どう？あれから男女共同参画の勉強してる？
画子.. あなたと話して「なるほど...」と思っただけ、私もあちこちで話してみただけ、まだまだ知られてないわね。「参画(さんかく)？参画(さんかく)じゃないの？」なんて言われたりして...
いまさらなんだけど、「さんかく」ってどう説明すればいいの？
参加とどう違うの？
参子.. 簡単に言えば、参加は何かやろうとすることに加わることで、参画は何をするか決めることから加わるってことかな。
画子.. いやあ男女共同参画って、男女一緒にいろんなことを決めましょうってこと？
参子.. そうね。男女平等といっても、仕事や家庭の中で女は損という場面が多かったのよ。でもその反面、「男はつらいよ」の場面もあるわけ。

それじゃあ、制度や慣行を見直して、男女平等とともに社会に参画して、生きやすい社会にしましょう！ということね。
画子.. でもね、男は仕事、女は家庭の何が悪いんだって言われたわ。
参子.. 専業主婦がダメだなんて言っていないのよ。問題なのは、女性が専業主婦を希望して選んだかということ。
例えば、結婚・出産・育児・介護のために、専業主婦にならざるを得なかったとしたら、それはやっぱり、女は損な社会ってことじゃないかしら。
男の人だって、「会社人間」なんて言われる人生は、決して幸せな生き方じゃないと思うの。
画子.. 女性問題だって思ってる人が多いけど、男性問題でもあるってことね。
参子.. 男女の不平等な力関係から生まれたと考えられるDVも、男女共同参画社会の実現を目指すには大きな問題ね。
画子.. ドメスティックバイオレンスね。最近、新聞やテレビで取り上げられることが多いわね。
参子.. 「フライバイシーの領域」とか「夫婦げんかは犬も食わない」なんて言っただけ、見て見ぬふりだったけど、内閣府が調査したら、『命の危険を感じるくらい』の暴行』を受けた経験のある女性が20人に1人、

という結果が出たんですって。
画子.. えっ、そんなに...驚きね。
参子.. 個人の問題じゃなくて、社会問題として取り上げられるようになったのね。DVにもジェンダーが潜んでいるのね。
画子.. 社会的・文化的につくられた性別ってあれね。
参子.. 男はこうあるべき、女はこうあるべき、なんて考え方。
画子.. ジェンダーって、あなたと話していると分かるような気もするけど、でもやっぱり、「女は女らしく」「いいんじゃない、と思うときもあるわ。
参子.. 男らしく、女らしくを否定しているんじゃないのよ。男・女ということで、生き方に枠をはめることが問題なの。
男らしく、女らしくっていう遺伝子は無いって！
私たちは、今まで刷り込まれてきているかも。でも気付いた以上は、変える努力をしたいわ。
そうになると、子どもたちへの教育は問題になると思うわ。
画子.. そうよね。始めから刷り込みがなければ、自然な形で受け入れられるんじゃないかな。
参子.. 川内市の条例には、教育の必要性を条文に入れてあるの。
とても大事で素晴らしいことだと思うわ。もちろん、親の意識改革もね。